

平成十一年度(第1十七回)

首都圈段戸会報告

平成十一年十月十六日、秋雨気配の空にもかかわらず、東京芝の「メルパルク東京」会場前のロビーでは、秋晴れのようなあふれんばかりの笑顔と歓喜の中で、第二十七回首都圏段戸会のオープニングを迎えるに至りました。

会で会はスタートしました。まず
服部会長（高2回）から「同窓会
ネットワークの拡大と、魅力ある
段戸会づくり、をテーマにして会
を運営していきたい」旨の開会挨
拶。続いて平成十年度会計報告、
監査報告を行い、参加者全員の賛
同を得ました。

生と母校との協力関係を構築していきたい、との来賓ご挨拶。石川教頭先生からは、母校の進学状況部活動報告、特に翌日のNHK高校音楽コンクール全国大会に母校が出場する等を含めたご挨拶をいただきました。

そして今年の招聘恩師として、戸苅先生(生物)、渥美先生(国語)、祖父江先生(数学)のご紹介とともに、挨拶、ご欠席の木原先生(数学)からのメッセージが披露され、いよいよ乾杯です。安藤氏(高1回)の力強いご発声で懇親会に入りました。

そんな歓喜あふれた会場にも時
間のピリオドが近づき、最後に恒例の全員による校歌斎唱、木村副会長（高3回）の閉会挨拶と手縫いめ、二三年の新たなページを開くべく、平成十二年九月二十四日の再会を誓つて、第二十七回のステージの幕を閉じました。

参加者は、それぞれに青春にち
どつた様なときめきと夢と思い出
を胸に、黄昏の芝公園の森や、都
会の喧噪と光の中へと消えていき
ました。ほのかな歓喜の余韻を残
しつつ……。（高20回 辻村貴典）

首都圈段戸会出席者

平成十一年度

平成11年度会計報告

〈单位：吋〉

科 目	収入の部	支出の部
前期繰越金 運営基金 会費等	978,784 461,440 1,158,590	
総会経費等 印刷費 通信費 次期繰越金		1,537,175 203,231 158,370 700,038
合 計	2,598,814	2,598,814

(高20回) 阿部俊三	村木央明	北野光敏	辻村貴典	天野隆太郎
(高22回) 青山裕治	山本良二	斎木令子	伊与田あさ子	佐知子
(高23回) 高橋俊光	杉浦一孝	平松巖	堀原誠	
(高25回) 内田寛	高27回) 平野元久	永井寛	山本信幸	
(高28回) 酒井邦彦	金高尚美	平岩宏司	山本信幸	
(高29回) 三橋桂子	吉田朋子	加藤研一	伊藤道彦	
(高30回) 岡本和也	佐野昌明	諏訪道彦		
(高32回) 佐野理江	米津智徳			
(高33回) 倉橋宏一	橋爪浩一			
(高34回) 宮川真一	内藤正光			

第28回首都圏段戸会開催について(ご案内)

首都圏段戸会会員の皆様、お元気でお過ごしのことと拝察申し上げます。

さて、今年も恒例の首都圏段戸会開催の時期が参りましたので、ご案内をお送り申し上げます。

今年から、皆様のご意見を取り入れ、従来の同窓会とは趣を変えて、“同窓生にとって有意義な同窓会にするよう！”に趣向をこらしました。即ち、

- (1) 同窓会の目的を“年次を超えた知らないもの同士が集まり、帰りには期待していた以上に知り合いが増える喜びを共有する会”というように位置づけました。
- (2) その目的のために、“ゴルフ、テニス、野球、サッカー、パソコン、囲碁、将棋、音楽、建築、生け花、英会話、観劇、絵画、旅行、料理・グルメ、読書、子供教育、政治経済、老後の設計”等々共通の趣味、関心事をお持ちの人達でのグループ懇親会の実施(約30分)。
- (3) 自由時間には、見知らぬ者同士が挨拶しやすいように、出身中学、高校部活名、卒業大学、会社名の入った出席者名簿を準備する。

等を予定しております。

初めて出席される方大歓迎です。世話を“人脈拡大・形成”的お手伝いをさせていただきますので、気軽に参加して下さい。なお、上記の情報を調べさせていただきますので、恐れ入りますが、返信用ハガキに該当事項ご記入のうえ、返信下さるようご協力方お願い申し上げます。(個人情報につきましては、プライバシー遵守の観点から、ご記入はもちろん自由です。)

同期の方々お誘いのうえ、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

記

●日 時 平成12年9月24日(日) 15:30~18:00

●場 所 メルパルクTOKYO(郵便貯金会館)

電 話 03(3433)7210

地下鉄 都営三田線芝公園下車 徒歩 5分

都営浅草線大門下車 徒歩 8分

J R 浜松町下車 徒歩 10分

●会 費 男 子 8,000円

女 子 6,000円

●招 聘 恩 師 (在職期間順)

松 村 皆 帰 先生 (数学) 昭和22年10月~25年9月

沢 田 耕 治 先生 (国語) 昭和33年4月~47年3月

市 川 崇 先生 (国語) 昭和47年4月~53年3月・昭和59年4月~平成7年3月

●問 合 せ 先

岡崎市東京事務所内 首都圏段戸会事務局

電 話 03(5211)5533

●出欠の回答

同封の返信ハガキに諸事項記入のうえ、“9月5日”までに投函下さい。

———— ◇ ————— ◇ ————— ◇ —————

<運営基金協力のお願い>

例年、本会の運営基金としてご寄付をお願いしておりますが、平成11年度は会報の会計報告通り、多額の基金が集まりました。これもひとえに会員の皆様のご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

会の円滑な運営を図るため、本年度も「1口1,000円以上」のご寄付を仰ぎたく、なにとぞご協力の程お願い申し上げます。

なお、払い込みについては、同封の振替用紙か当日受付にご持参頂ければ幸いです。